

## 2023年度

科目名称	特別支援教育論
授業コード	AI272
英語名称	Studies of Special Needs Education
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	尾野 明美 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	この科目では、特別支援教育・保育の歴史、インクルーシブ教育・保育の理念と意義を学び、特別支援教育の教育・保育の理論や制度の理解をもとに、教育・保育の展開に必要なアセスメント方法や支援計画の立案方法、特別なニーズを持つ子どもたちへの実践的な支援方法を学びます。その中で、個々の特性や心身の発達に応じた支援や配慮に繋がられるよう、障害や発達特性、日常生活での配慮や環境設定の仕方、個別支援計画の立案、家庭や関連機関との連携を取り上げ総合的なニーズへの対応策を学びます。
科目に関連する実務経験と授業への活用	保健福祉センターでの幼児期の子どもの発達相談支援の経験を踏まえて、障害のある子どもの理解と保護者支援、専門機関との連携について講義します。
到達目標	豊かな子ども文化の創造と能動的な学習および生きる力の育成に貢献する教育指導者としての資質を高めるために、以下の目標に到達することを目指します。 特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解します。 特別の支援を必要とする子どもに対する教育課程、支援の方法を理解します。 多言語環境や貧困等、障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの生活上の困難さ、対応の仕方を理解する。また、それらの子どもの特性及び心身の発達を理解します。 本学科のディプロマポリシー「教育・保育に求められる専門知識と技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができる。」を身につけます。
計画・内容	第1回 障害の概念と特別支援教育の歴史の変遷 第2回 特別支援教育に関する制度の理念や仕組み 第3回 肢体不自由、知的障害のある幼児・児童の特性の理解と支援の方法 第4回 視覚障害・聴覚障害・言語障害；病弱を含む様々な障害のある幼児・児童やの特性 の理解と支援の方法 第5回 発達障害（ADHD）のある幼児・児童の特性の理解と支援の方法 第6回 発達障害（LD）のある幼児・児童の特性の理解と支援の方法 第7回 発達障害（自閉スペクトラム症）のある幼児・児童の理解と支援の方法 第8回 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容 1～7回までの専門的知識の習得の確認（確認テスト） 第9回 幼稚園・認定こども園における特別支援教育 第10回 小学校における特別支援教育 第11回 学校教育における特別支援学校の役割 第12回 特別支援学級、通級による指導、特別支援教育での支援 第13回 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成する意義と方法 第14回 家庭や関係機関との連携・協働、特別支援コーディネーターの必要性、公認心理師として発達相談の臨床を踏まえて具体的事例を紹介 8～13回までの専門的知識の習得の確認（確認テスト） 第15回 特別の教育的ニーズのある幼児、児童・生徒の学習上、生活上の困難とその対応の理解
授業の進め方	授業は教科書及び配布資料に沿って講義形式で展開し、適宜ビデオ等の視覚教材を用いて授業を充実させます。
能動的な学びの実施	特別の教育的ニーズのある子どもに感心を持ち、特別支援教育に関する問題について調べ課題を見出し、グループワークを通して考察を深めます。ディスカッションやプレゼンテーションを用いて意見を交換し、特別支援教育の理解を深めます。

## 2023年度

授業時間外の学修	授業前に学習内容に関して調べ、授業後には毎回授業の学びをまとめ、知識を定着させてください。（合計60時間程度）
教科書・参考書	特別支援教育・保育概論 -特別な配慮を要する子どもの理解と支援- 尾野明美・小湊真衣・奥田訓子編著 萌文書林
成績評価方法と基準	毎授業の小テストの成績（10%） 専門的知識の確認テストの成績（50%） 課題レポートの提出（30%） 授業の参加度（10%）により総合的に成績を評価します。
課題等に対するフィードバック	毎回の授業冒頭に前回の授業の確認小テストを実施し、授業内で解説を行います。確認テスト（ ）の答えは返却し、授業内で解説を行います。 課題レポートは添削し、コメントをつけて返却します。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目です。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方：MeetまたはZoomで授業内容を講義した後に、各自が課題に取り組み考えをまとめ、オンライン上で意見を発表し、議論します。授業内容に関する確認小テストを行い、Webフォームに直接入力をし、その後解説を行います。 意見の発表等の授業への態度（20%）、毎回の授業理解度確認の小テストの成績（50%）、小レポート課題（30%）により総合的に評価します。